

(10) 地域での子育て支援に関することについて

《就学前児童のみ》

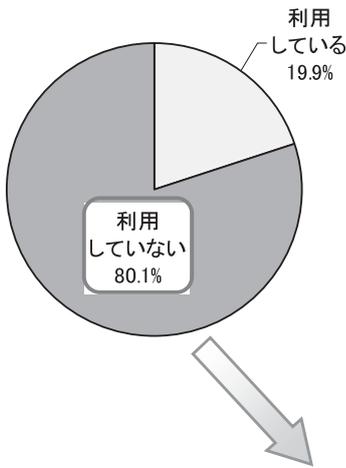
【問38】お子さんは、現在、市の地域子育て支援サービス（親子が集まって過ごしたり、相談したり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」、「子育て支援センター」などと呼ばれています。）を利用していますか。

【問39】今、利用していない方で、できれば利用したいと思う方は、回数を記入してください。

【問40】利用していない方は、その理由は、どのようなことですか。

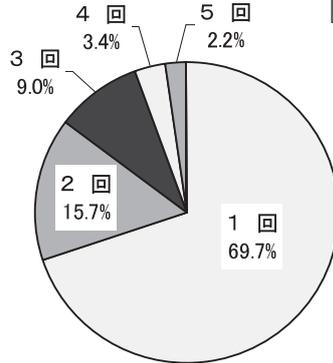
問38. 地域子育て支援サービスの利用の有無

全体 (N=629)



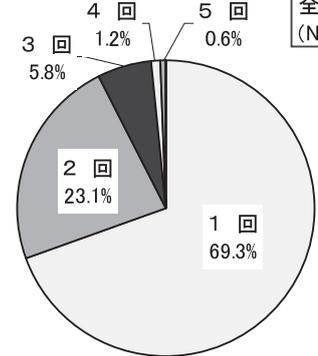
問38(1). 地域子育て支援サービスの利用：1週間当たり利用回数

全体 (N= 89)

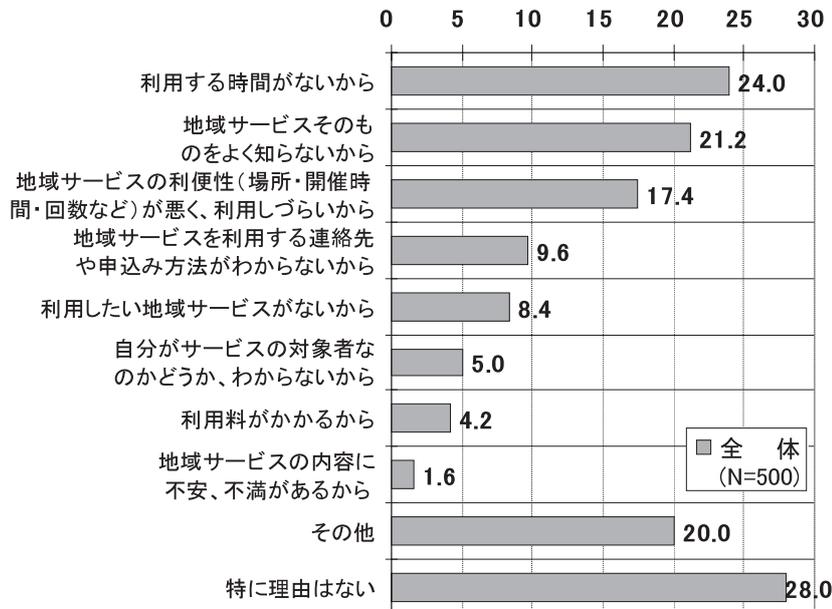


問39. 地域子育て支援サービスの利用：今後希望する1週間当たり利用回数

全体 (N=173)



問40. 地域子育て支援サービスを利用していない理由（複数回答、%）



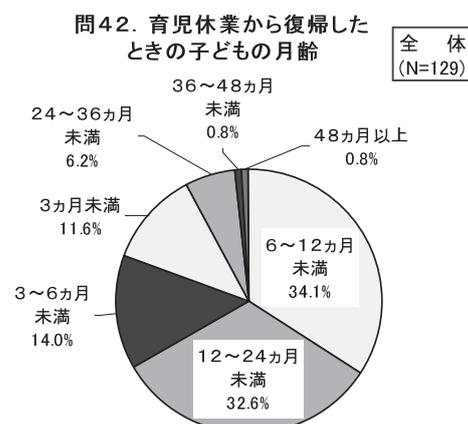
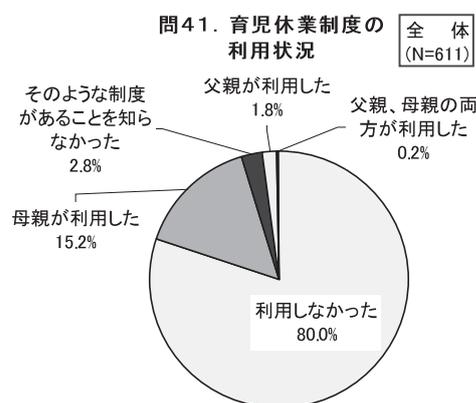
(11) 育児休業制度の利用について

《就学前児童のみ》

【問 41】 お子さんの出産や育児で、父親または母親が育児休業制度を利用なさいましたか。

【問 42】 育児休業から復帰なさったとき、お子さんの月齢は何カ月でしたか。

子どもの出産や育児で育児休業制度を利用しなかった世帯は、8割あります。また、育児休業から復帰したときの子どもの月齢で1番多いのは、「6～12カ月未満」で3割強です。



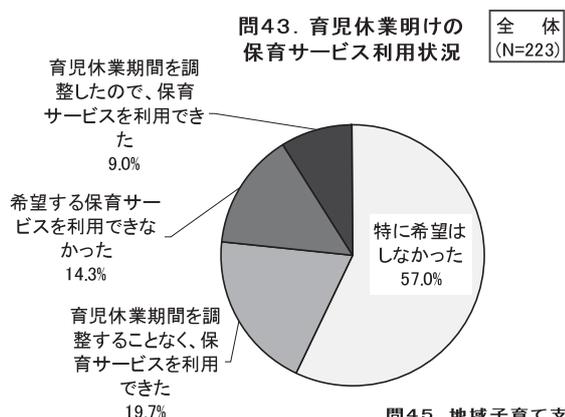
《就学前児童のみ》

【問 43】 育児休業明けに、希望する保育サービスは利用できましたか。

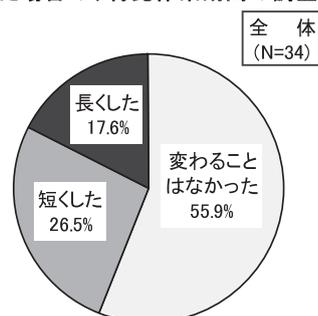
【問 44】 育児休業期間を調整して保育サービスを利用できた方について、育児休業明けに希望する保育サービスが確実に利用できたとしたら、育児休業は実際に取得した期間と変わりましたか。

【問 45】 育児休業明けに、希望する保育サービスを利用できなかった方について、その場合は、どのように対応されましたか。

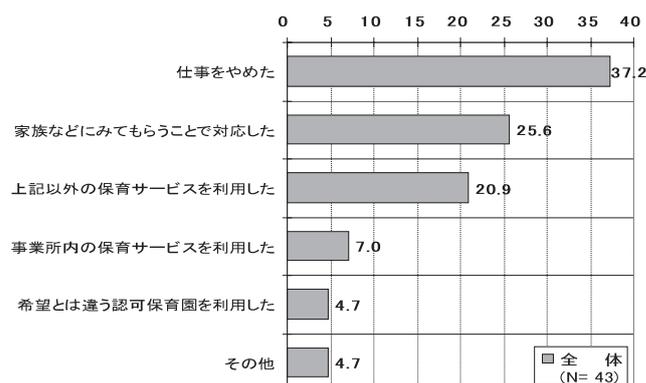
育児休業明けの保育サービスの利用状況について、特に希望しなかった回答が6割弱で、次に多いのが、「育児休業期間を調整することなく、保育サービスを利用できた」で2割弱の回答です。



問44. 保育サービスを確実に利用できた場合の、育児休業期間の調整



問45. 地域子育て支援サービスを利用していない理由(%)



(12) 子育て支援サービスの認知度・利用度について

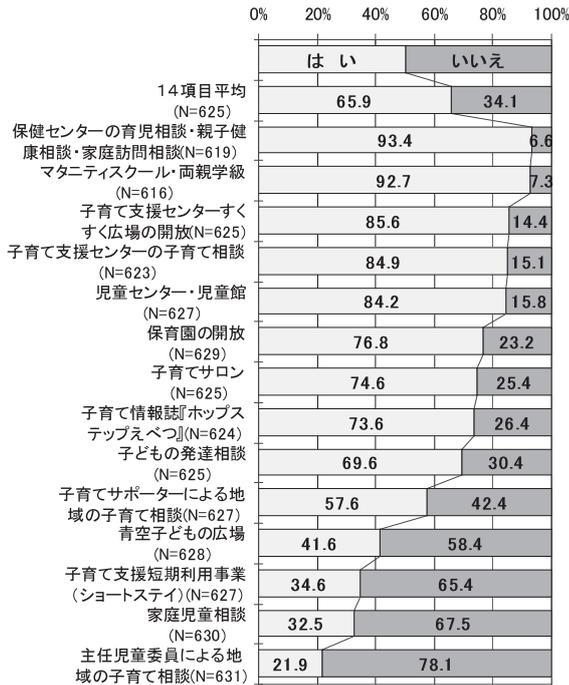
《就学前児童・就学児童 共通》

【問 46】(就学は、【問 31】) 下記の子育て支援サービスについて、知っていたり、これまで利用したことはありますか。また、今後、利用したいと思いますか。

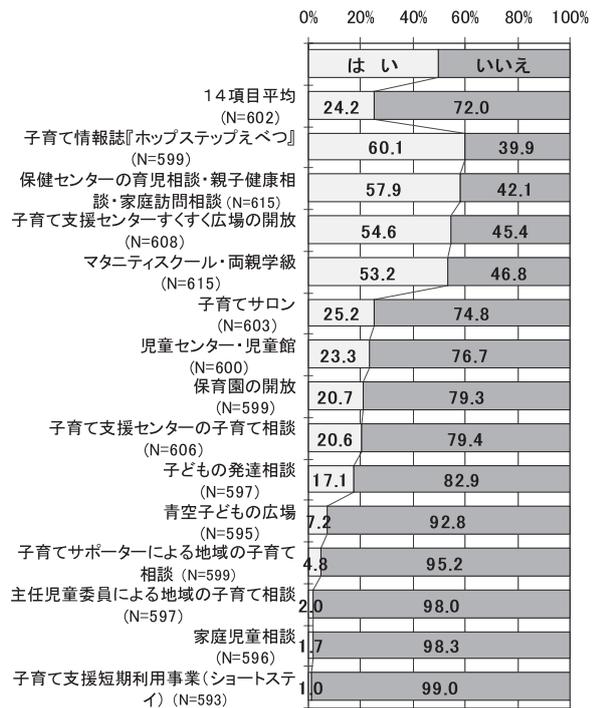
《就学前児童》

認知度で1番高かった子育て支援サービスは、「保健センターの育児相談・親子健康相談・家庭訪問相談」です。また、利用経験、利用意向ともに、「子育て情報誌『ホップステップえべつ』」が1番です。

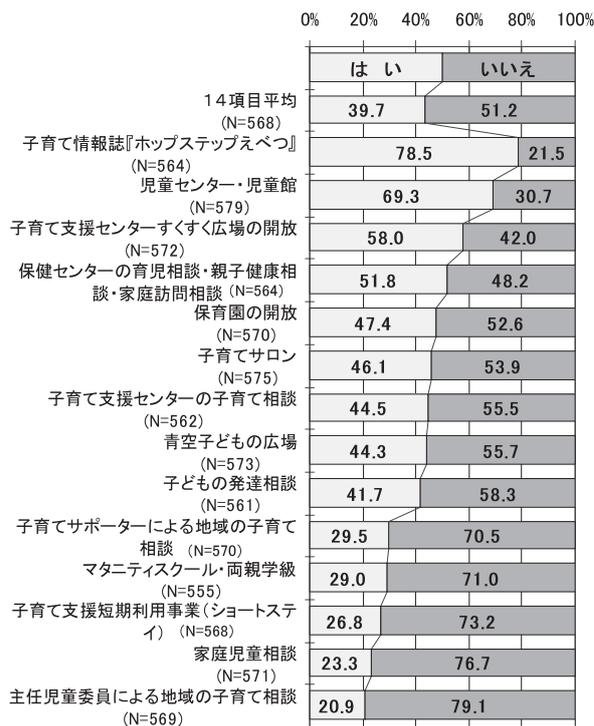
問46. 子育て支援サービスの認知度 (%)



問46. 子育て支援サービスの利用経験 (%)

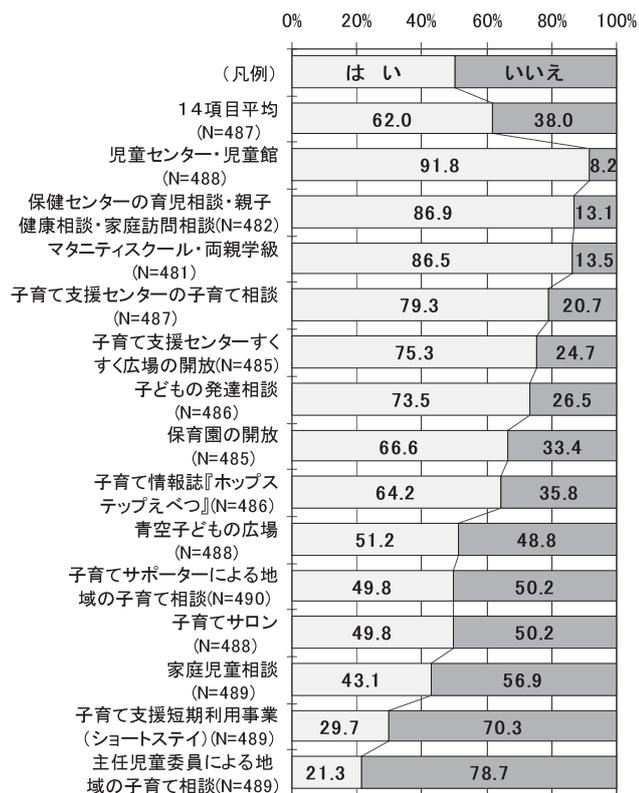


問46. 子育て支援サービスの利用意向 (%)

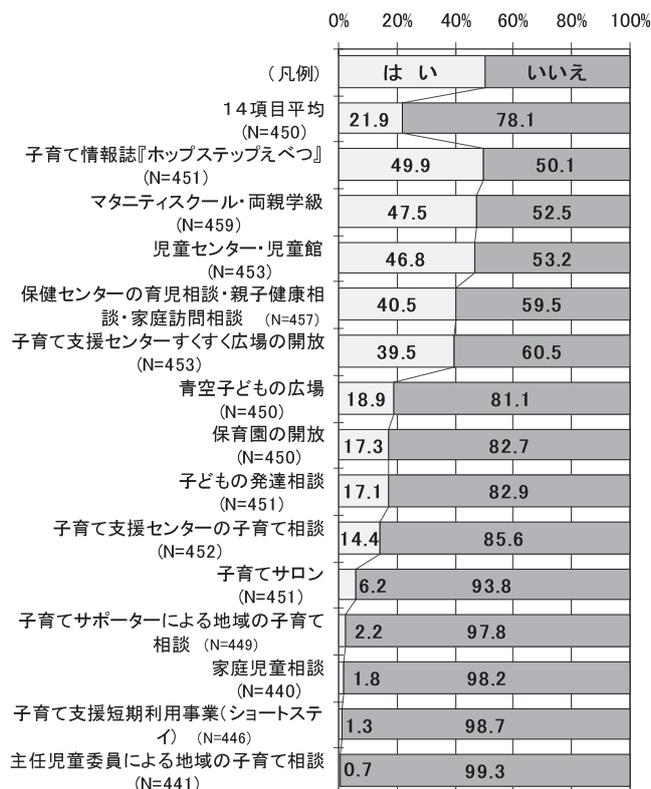


《就学児童》

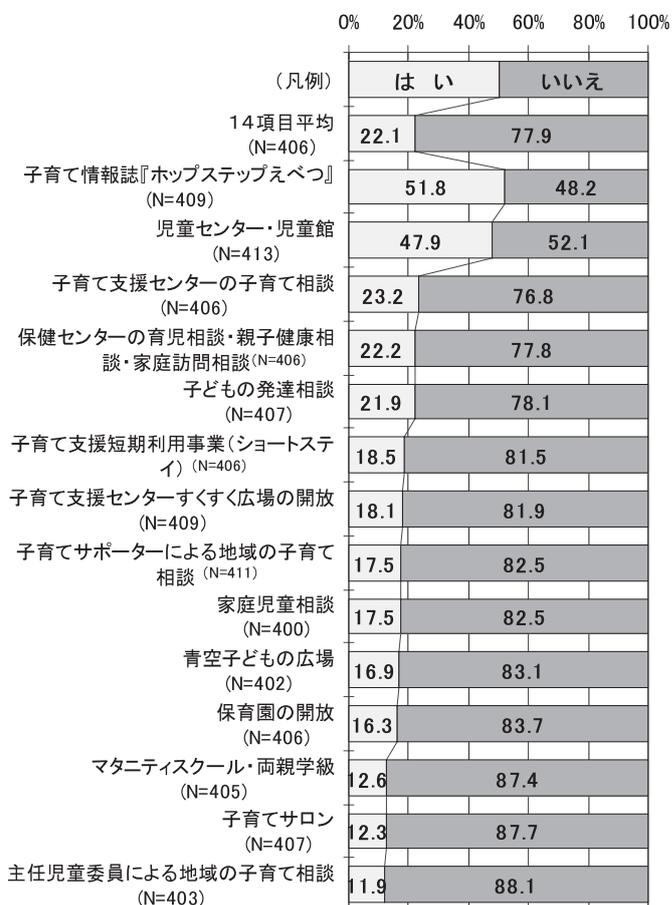
問31. 子育て支援サービスの認知度 (%)



問31. 子育て支援サービスの利用経験 (%)



問31. 子育て支援サービスの利用意向 (%)

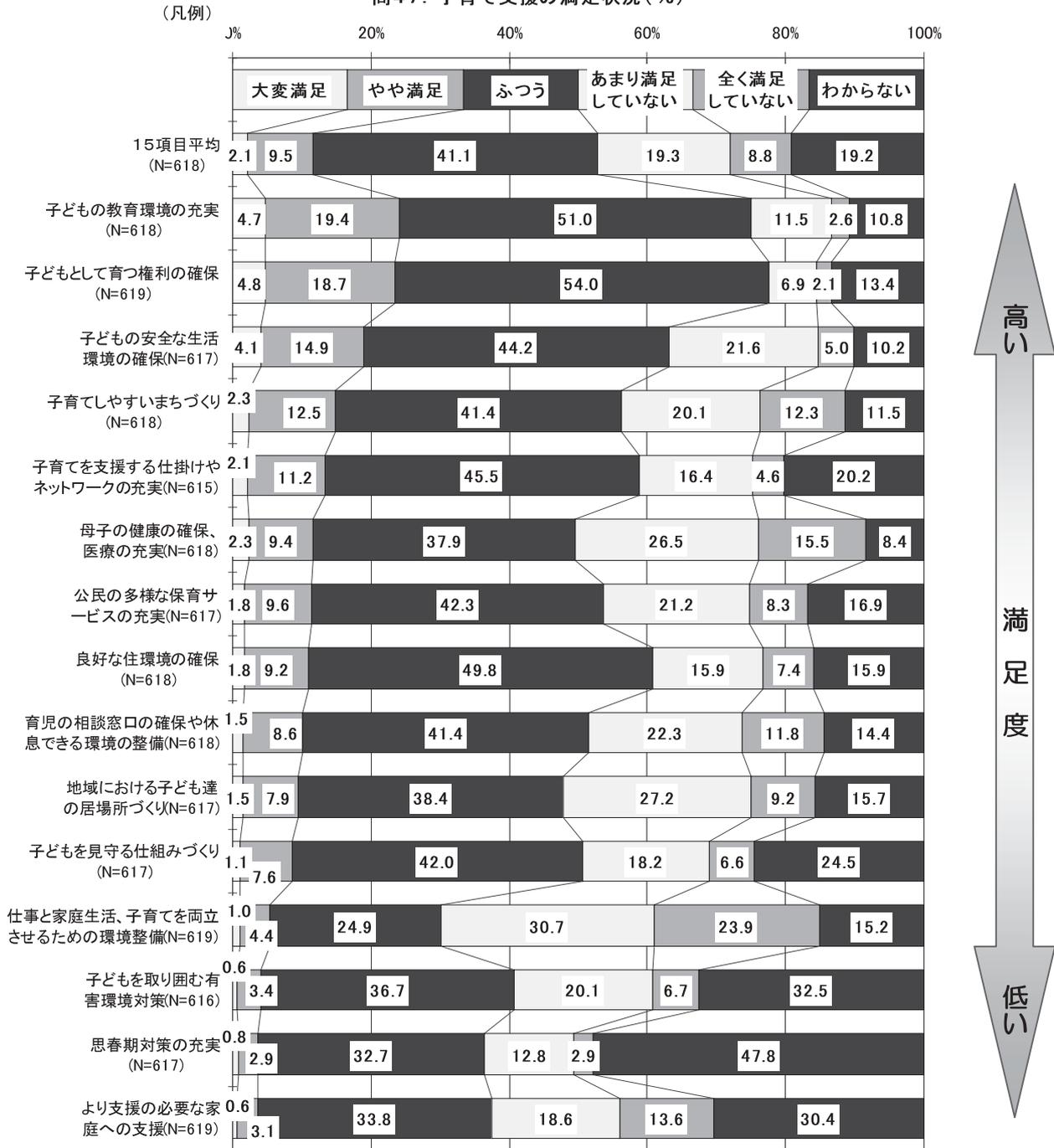


(13) 子育て支援に対する満足度について

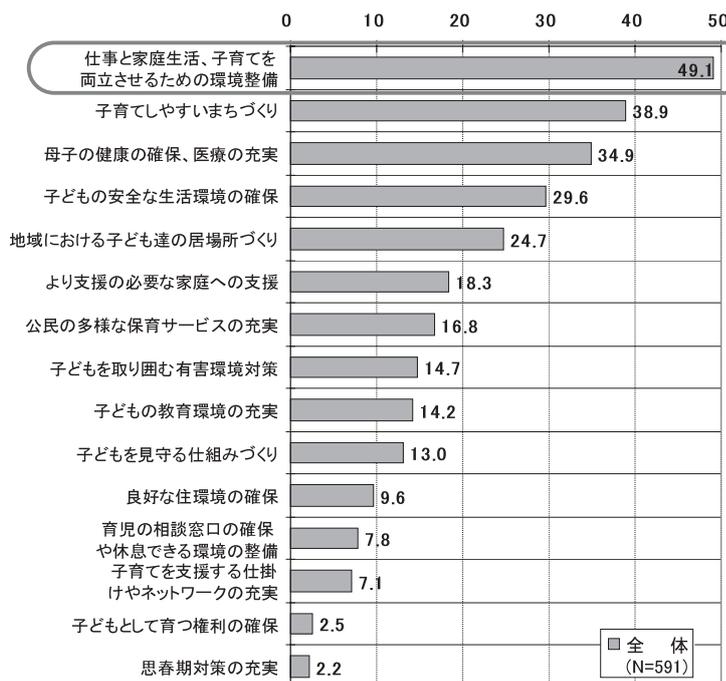
《就学前児童・就学児童 共通》
 【問 47】(就学は、【問 32】) 以下の子育て支援の内容について、あなたご自身の満足状況はいかがですか。
 【問 48】(就学は、【問 33】) 以下の子育て支援の内容のうち、今後、行政が積極的におこなってほしいものはどれですか。最大3つを選んでください。
 【問 49】(就学は、【問 34】) 子育てに関するあなたご自身の満足状況について

《就学前児童》

問47. 子育て支援の満足状況(%)

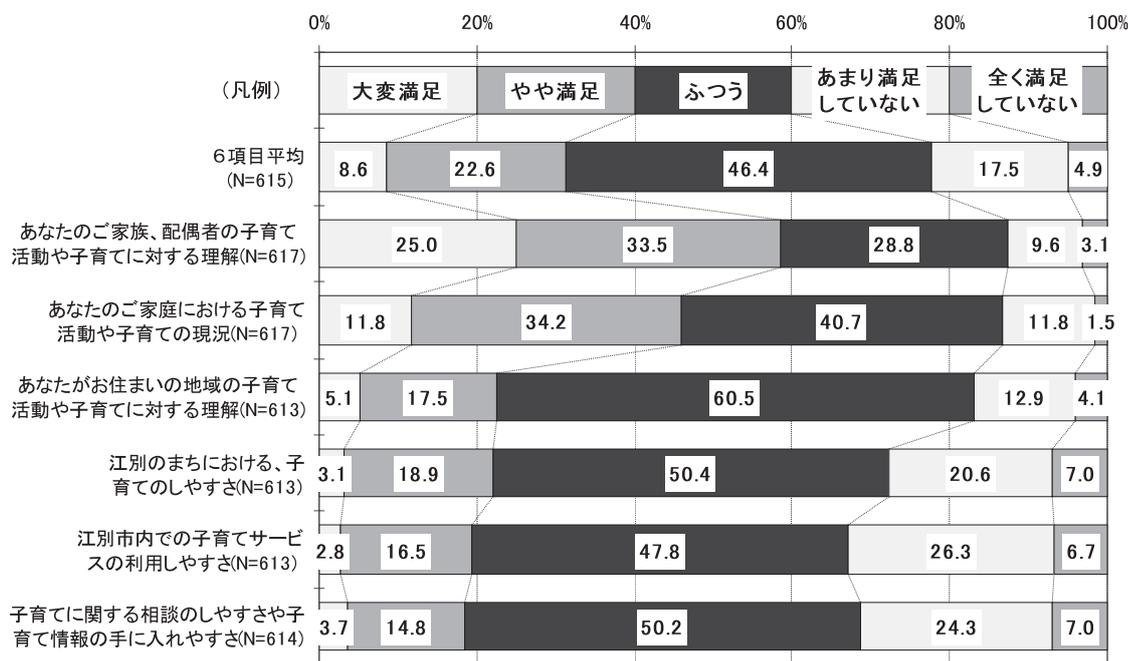


問48. 行政が積極的に行なってほしい子育て支援(複数回答、%)



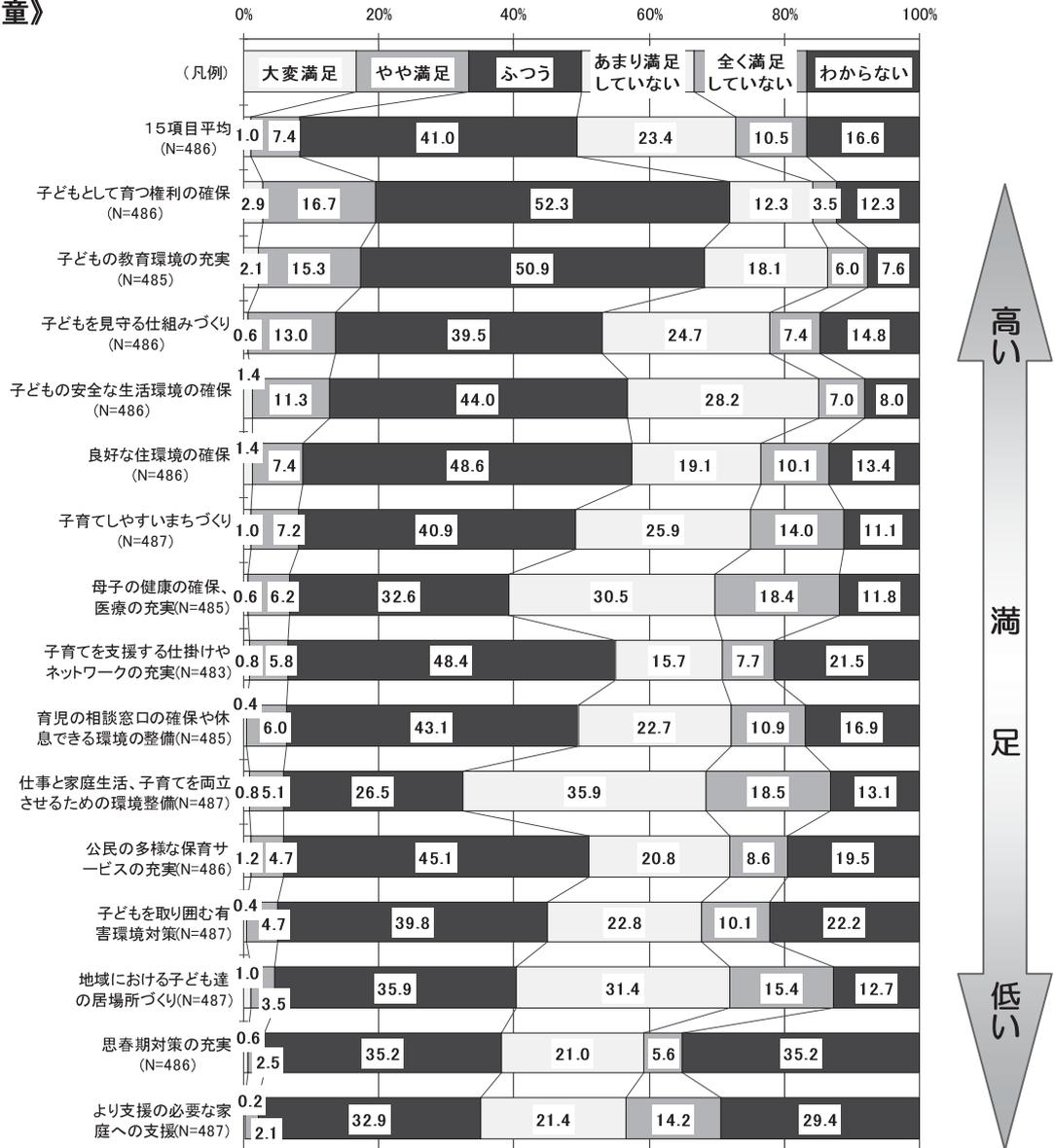
行政への期待が1番大きいのは、「仕事と家庭生活、子育てを両立させるための環境整備」(49.1%)です

問49. 自分自身の子育てに関する満足状況(%)

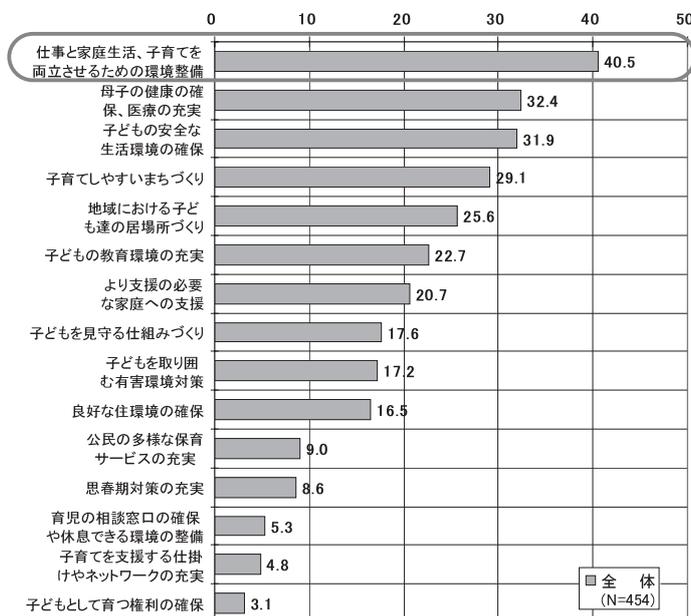


問32. 子育て支援の満足状況(%)

《就学児童》

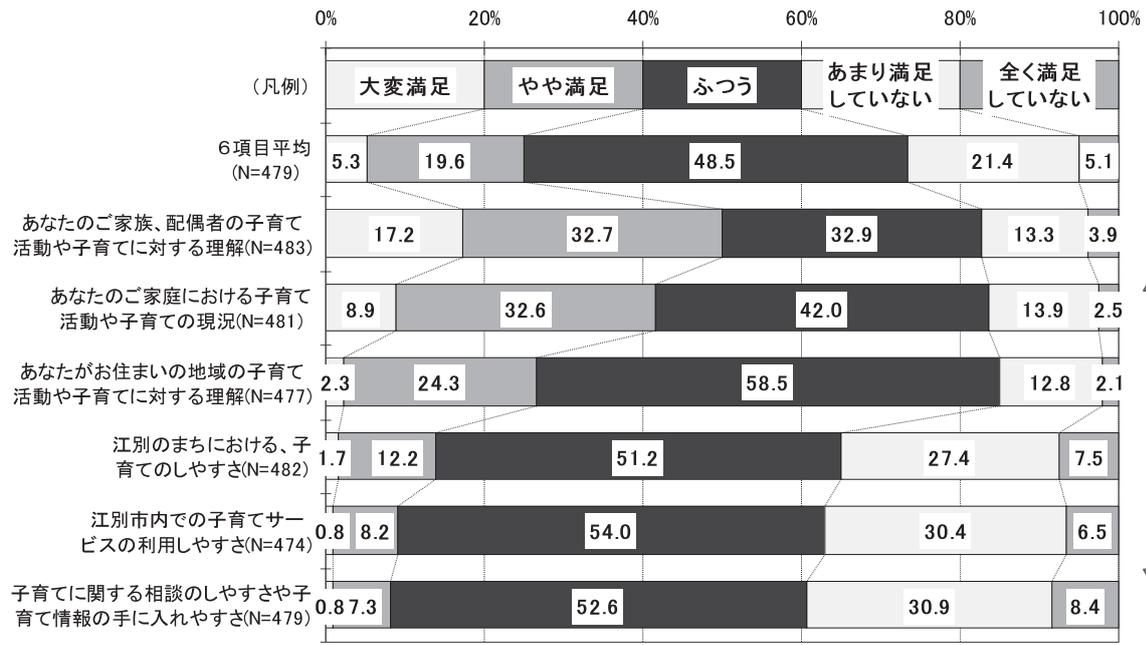


問33. 行政が積極的に行なってほしい子育て支援 (複数回答、%)



行政への期待が1番大きいのは、「仕事と家庭生活、子育てを両立させるための環境整備」(40.5%)です

問34. 自分自身の子育てに関する満足状況(%)



(14) 市民ニーズ調査自由意見分

(1) 自由意見集計結果

関係する基本目標		就学前児童世帯	就学児童世帯	合計
1	「子どもが笑顔で育つ」まちづくり	39	51	90
		10.2%	22.9%	14.9%
2	「安心して子どもを生き育てることができるまちづくり	104	82	186
		27.2%	36.8%	30.7%
3	「地域で子どもを育てる」まちづくり	6	7	13
		1.6%	3.1%	2.2%
4	「子どもと親、地域の子育てを支援する」まちづくり	189	62	251
		49.5%	27.8%	41.5%
5	「子育て環境が快適に暮らせる」まちづくり	44	21	65
		11.5%	9.4%	10.7%
合計		382	223	605

(2) 自由意見（抜粋）

① 「子どもが笑顔で育つ」まちづくり

●親の子供に対してのしつけや、人としての指導不足を感じます。良い事と悪い事の分別がつく年代の子供でも平気で迷惑をかける場面を目にします。子供を預けるサービスではなく、子供達を心豊かな人間に育てる手助けのできるサービスをやってもらいたいです。いじめが減らない事も、子供や親の心が育っていないからだと思います。 ●一つ提案として小学校と高齢者が交流する機会を考えていただければ双方にメリットがあるように思います。 ●校舎の耐震がとても心配です。 ●西野幌地区には、児童センターがないので、小学校の近く又は小学校内でのセンターがあると、子どもが自分で歩いていくことができると思います。 ●たくさんの子育て支援センターや広場がありますが、車を持っていない方や兄妹がいて移動が大変な方も多く周りにいます。もう少し育児広場の場所を定期的でもよいので（月1回程度）小さな自治会館や児童センターなどを利用して出張サービスのものを行ってもよいと思います。（有料でもよいので…） ●普段は、学童保育まで必要はないが、児童センターがほしい。 ●学校に預かりできる状況が一番安心できます。下校後の時間帯も安心して働ける環境づくりを希望しています。 ●子供達がいつでも行きやすい場所があれば、より良いのでは。 ●小学校に、放課後の保育や学習や支援サービスなどを充実させてほしい。 ●近所に同世代の子どもが少なく、異年齢の子ども同士も繋がりが薄いです。 ●小学校で不審者情報があっても入学前の子の家庭には伝わらないので何か対策があれば良いと思います。 ●小中学校でも踏み込んだ性教育を希望します。

②「安心して子どもを産み育てることができる」まちづくり

●ある程度は配偶者の理解や共同での子育てで、かなり楽になるのではないのでしょうか。友人の相談の共通点は、配偶者の帰りが遅く、母親の負担が辛いとの事が一番多いです。お父さんが早く帰ってくると子どもも安心してよこびます。 ●子供を育てている家庭への直接的支援も大切だが子供を社会で育てるという意識が企業の中に根づかない限り、子育ては窮屈なもの。 ●子供が出来ると職を失う不安感。育児休業の充実している企業がほとんど無い。 ●仕事、子育て、家庭を両立させるための環境をもっと充実させて欲しい。江別市で、子育てしたいと思わせるような制度を作って欲しい。 ●子どもの出生率が低下していることが問題になっているが、保育園の待機児童がいるなど、不安に思うことが多い。また、女性の共同参画をすすめるのであれば、女性が働きやすくなる環境を整えていただきたいです。 ●現在は保育園に預けているので安心だが、小学校に入ると平日の休みや午前授業などで帰宅が早くなると思う。児童クラブなど充実した施設があると親としても安心して働ける。児童クラブも遅い時間（19時頃）までであると助かる。 ●学童保育は低学年まででなく、6年生まで利用できるようにしてほしい。 ●電話だと子どもが騒いで話しが聞こえないと思ってかけられない。子どもの前で相談すると、子どもが気にするのでできない。子どもの心配をせず育児の話を聞いてもらったり、教えてもらったりしたい。託児サービスがついていると安心して、相談を聞いてもらえる。 ●行政に訴えたり、地域の支援サービスを利用したい、利用しようという意欲さえ、その発想さえ持てない程、息詰まり・行き詰まる若い母親達が潜在的に現に生活していることを知って頂きたいと思います。 ●子育てにはやはりお金がかかります。予防接種などは市で負担してくれると、とても助かります。 ●子どもの定期検診や歯のフッ素などは大麻から通うのが大変なので、保健センター1か所でなく、数か所でやってほしい。 ●全国的に言える事ですが産婦人科・小児科医が不足している。江別の開業医も年老いて閉院する人も少なくない。市立病院だけでも確実な医療体制であってほしい。 ●急な病気などの際に対応できる体制にしてほしい。病院の負担を中学までか小学校卒業まで延長してほしい。

③「地域で子どもを育てる」まちづくり

●もう少し親同士が関わりを持ち互いの子供を協力して見守る意識を江別市の保護者は高めるべきだと思う。 ●子育てだけではなく、子供からお年寄りまでが気軽に集まる場所（くつろげる）があって、そこに様々なサービスの窓口など相談できる場があると、非常に利用しやすかったり、そこからいろいろな輪（和）が広がって地域に根ざしたサービスにつながるように思います。 ●近所に同世代の子供がいない。子育て支援センターも利用していますが車がないので、行くまでが大変。町内会ごとにあつまって交流ができればいいと思います。 ●地域のパトロールの方がいつもあたたかい目で子供たちを見守って下さって感謝しています。 ●民間の団体には、頑張って活動しているところが多くある。このような団体等に補助をするなどして、民間レベルの活動を支援することに徹するべき。行政でできることには限界がある。

④「子どもと親、地域の子育てを支援する」まちづくり

●就学前、就学児童、一緒に預ける事ができる所がほしいです。 ●教育の一環として、4歳になつたらどの家庭も保育サービス（保育園、幼稚園）を受け入れることができるようにしてほしい。経済的、就労的に制約される家庭もあるということを知っていただきたい。 ●多様化している仕事なので、もっと休日や祝日も安心して預けられる、あまり負担にならないような預け先がほしい。 ●求職中、ハローワークに行ったり、面接に行くのに子供を安心して預けられるといいと思います。保育所の空きなどもホームページで調べられたりすると動きやすいです。 ●保育園等の一時保育で預けられる保育園をもう少し増やしてもらいたい（場所が遠かったりするの）。 ●病児・病後の保育サービス等、両親共に就労している家庭に必要なサービスの情報や環境設定が不十分ではないかと思います。 ●江別市は人口のわりに乳児の保育園が少なすぎる。 ●公的な支援サービスを充実させることは良いことだと思います。ただ、受益者の負担が少なすぎるため、各サービスにどれだけ費用がかかっているか、意識が薄いと思います。弱者を助けるという意味では、負担を少なくするのは良いが、公的支援がどれだけされているかも、わかるようにしてほしい。 ●子供をしっかりと育てるには、安心して出産、育児ができること。どんな理由があっても、預けたい時に子供を預けられるシステム。働きたい母親が安心して就労できるサービスは不可欠だと思います。また、多胎児や、障がい児の親への積極的な支援を考えていただきたいです。 ●ショートステイがもっと簡単に利用できれば助かる。 ●残念ですがどのような子育て支援をしているか、よく分からないのもっとPRしてもらいたいと思いました。 ●私達はこうした計画について、知識を持っていなかったのでもっとPRしてもらいたいと思いました。 ●私達はこうした計画について、知識を持っていなかったのでもっとPRしてもらいたいと思いました。 ●子どもにお金、ただでさえかかるので、何か一緒に参加できる無料のイベントなど、開催して頂けたら嬉しく思います。 ●江別市は、子育てサロンなどがたくさんありママ友達を作りやすかったし、子供も楽しめました。 ●子育てサロンの回数をもっと増やしてもらえるとありがたいです。 ●子供は、小さい時からいろいろな年代の人と関わるのが良い人格形成につながると思うので、みんな交流できる場をつくって頂きたいと思います。 ●孤立してしまう若いママたちがいなくなるように、こまめな声かけや場所の確保。 ●子どもの年齢に応じ、個々に当てはまるサービスの案内などをして頂くと利用しやすくなると思います。 ●母子・父子家庭の子育て支援を充実させてほしい。 ●子育てが負担と感ずることがない環境作りをこれからもお願い致します。（助成、医療等） ●発達障がいの子供も普通学級と一緒に過ごせる様な環境と職員ボランティアの対応を進めてほしい。一人一人が差別意識のない人格を持てる教育が必要。 ●子育てにはお金がかかります。せめて、中学校卒業までは無料で学校へ通えるようなシステムが充実すれば良いと思います。

⑤「子育て家庭が快適に暮らせる」まちづくり

●公園はけっこう整備されているが、天気が悪い時の子供の遊び場が少ないのもっと増やして欲しい。 ●冬の子どもの遊び場所がない。体を動かせる場所が欲しいと思います。 ●「子育てのしやすさ」をあげるならば、乳幼児を抱えている時期に安心して行動できる事が必要ではないだろうか。例えば、大麻地区での健診があったら現在よりは楽になる気がする。児童館の利用は親よりも子供がいかに行きたくなるかも必要。 ●一歩外へ出た時の安心、安全がほしい。冬季で言えば、道路(歩道)の除雪、排雪、凍結路面において子供が安全に歩けるように考えて、地域ぐるみで対処するべきではと思います。 ●車がないと、支援サービスをうけられるところにも行きにくいと思います。